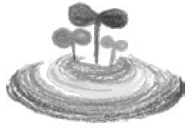


あなたの愛と思いやりの 善意の循環が人と社会を変えます。



(公財)いのちの森文化財団 代表理事
水輪の会 代表理事 塩澤みどり

米ウイスコンシン医科大名誉教授のドクター徳は、コロナによる失業や日常生活の破壊、自殺者増加などが進む中で、人間生活に必要な必須の条件として「愛と思いやり」を挙げています。愛と思いやりの脳内物質はオキシトシンと呼ばれています。人に善意を尽くされている志高い方々は、愛と思いやりのオキシトシンにより、ご自分の自然治癒力と免疫力を高めています。自分さえ良ければという生き方は孤独な死をも意味します。自分さえ良ければという生き方から、みんなの為にという考えにシフトしていくという事をコロナは教えてくれています。これからの生き方はみんなが助け合い、補い合い分かち合い、愛し合いそして学び合っていく方向にシフトしていく時代です。人は一人では生きられません。この大宇宙の中の地球で生きている生命は繋がり合って存在しています。何一つ切り離されたものはありません。切り離された生命はやがて枯れていきます。人は人を念（おもう）じる心があってこそ生きられます。誰にも備わっている心です。

いのちの森水輪は30名の血の繋がりを超えた大家族として共同体文化を形成しています。いのちの森水輪のみんなは、毎日寝食を共にし、色々な毎日起こることごとの中で、その葛藤を乗り越え、より協力しながら、助け合い、補い合い、分かち合い、思い合い、愛し合い、学び合うという、血の繋がりを超えた大家族の共同体生活文化や共同体教育文化を創っています。ひとしづくの愛から輪を広げていく水の波紋のように、皆様との愛と思いやりの繋がりが水波紋の輪のように人と社会を開いていきます。それを願い水輪という「名前」が生まれました。

今まで何年も何十年も支えてくださっている皆様へ感謝申し上げます。一人から一人へとつながり合ういのちの森水輪を育ててくれました。本当にありがとうございました。

これからもいのちの森の理念とビジョン「いのちの森構想」の実践を通して、いのちの輝きを中心にした新しい時代をひらき、共に幸せになります。今後ともどうぞよろしくお願い致します。



全宇宙的な意識性と
生活空間のつながり



いのちの森構想に取り組む
法人・団体



いのちの森構想で
展開される事業